

TIME	内容
	オープニングタイトル
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。 さあ、5月前半、ゴールデンウィークですね。 今年は飛び石で祝日があるということですから、有給休暇を使って最大で16連休なんて方もいるみたいですよ。</p> <p>田村： 月の半分以上休み。で、また緊急事態宣言ですよ。</p> <p>廣川： そうなんですよ。緊急事態宣言も出ましたから、ステイホームのゴールデンウィークとなりますけど、田村さんはどうですか？ ゴールデンウィークの予定は？ありますか？</p> <p>田村： 一切無くて。 最近はおっぱらクラブハウスとインスタで夜な夜な配信してるので。</p> <p>廣川： 配信されているっていうのだけ見えます。</p> <p>田村： 取りつかれたようにポジティブなことを。中身のないポジティブなことを。日々そればかり喋ってるから、自分でもそれを意識してて、全部ニコニコ「わかった、わかった。それやろうね」「奥さん、今座ってていいからね。俺、ご飯作るから」って、ニコニコニコって逆にしてやったんですよ。そしてたら全部上手く行って、普段からポジティブなこと言い続けた結果、自分をマインドコントロールできて、ポジティブの余裕ができて、こういう効果もあるんだなという。</p> <p>廣川： 好循環というか、いろんなところが上手く回るようになります。</p> <p>田村： ステイホームも良いこといっぱいあります。</p>

廣川：

ニコニコして私たちも過ごしたいですね。
新型コロナウイルスに注意しながら、楽しいゴールデンウィークを過ごして
いただきたいなと、ニコニコしながら過ごしていただきたいと思いますが、
その楽しみ方のヒントになるかもしれない内容の特集をご紹介します。
梅山さんがリポートしてくれました。

田村：

え？梅山さんが？

特集「#すいかレ2022に応募しよう」

ナレーション

新緑の季節、本来なら旅行やレジャーを計画していた皆さん。
コロナ禍でどこにも行けない～とお嘆きではないですか？ そんな中・・・

梅山

密にもならず一人で身近な場所を楽しむことができるものがあるらしいんですよ。
その名も「すいかレ」！ …でも「すいかレ」ってなんなんやろ？

VTR タイトル《 #すいかレ2022 に応募しよう》

ナレーション

さて「すいかレ」の実態を知るためにやってきたのは吹田市役所の
シティプロモーション推進室。

梅山

こんにちは。あの「すいかレ」について教えてもらいたいんですけど。

高畠さん

わかりました。僕でよければ説明させていただきます。

ナレーション

「すいかレ」の説明を買って出てくれたのは、シティプロモーション推進室の
高畠さん。

梅山

ズバリ、「すいかレ」って何ですか？

高畠

「すいかレ」はこちらになるんですけど、吹田市カレンダー。
略して“すいかレ”です。

梅山

なるほど！カレンダーだったんですね。

高畠

そうなんです。

梅山

あっ、きれいな写真。いろんな景色が。あっ！これいいですね～。

高畠

ガンバ大阪のホームスタジアムの「パナソニックスタジアム」になります。

梅山

あっ！これは「まきふん公園」じゃないですか！

高畠

ご存知ですか？まきふん公園。そういう吹田の名所とかも撮影いただいています。

ナレーション

そう！「すいかレ」は写真を投稿して作る参加型の吹田市のカレンダー。昨年から実施されたこの企画は、日本国内に住む人なら誰でも応募OK。インスタグラムの吹田市をフォローして、ハッシュタグ「suitablecity」と「すいかレ2022」をつけて投稿するだけで参加できちゃうんです。テーマは「伝えたい、吹田の一コマ」。優秀賞13作品に入ると、来年のカレンダーに採用されるんです。

梅山

ということは、私も応募できる？

高畠

もちろんです。

梅山

え～！じゃあ、ちょっとチャレンジしたいので、ついて来てもらっていいですか？

高畠さん

もちろんです。

梅山

お願いします。

高畠

お願いします。

ナレーション

ということで、写真撮影に出かけようと市役所を出たのはいいのですが、さて一体何を撮ったらいいのやら。

梅山

さあ、外に出て来ましたが、何から撮ったらいいですかね？

高畠

そうですね、吹田市のPRのためのカレンダーになりますので、吹田市の何かわかるようなものを撮っていただければと思います。

ナレーション

ここで「すいかレ」に入賞するためのポイントを伝授。せっかくのきれいな写真もアップで撮ってしまうと場所がわからないためNG。背景を入れ、吹田のどこを撮っているかアピールするのがコツなんです。そして・・・、

梅山

私、やっぱり万博の太陽の塔が撮りたいなと思うんですけど。

高畠

みなさん万博の写真をすごく沢山撮るので、競争率が上がってしまうんですね。

梅山

それはダメです。

高畠

そうということで、去年の受賞者の方から実はアドバイスを頂いておりました。

ナレーション

ここで写真のことがさっぱりわからない梅山さんをサポートするために助っ人登場。ご覧の作品で、去年のすいかレ優秀賞に輝いたインスタグラマー Kohsaku_48 さん。入賞経験者からの指令とは、いかに！？

梅山

さあ、ではこちら…ジャン！“新スポットを狙え！”新スポットって何ですか？

高畠

新スポットがあるんです。

ナレーション

ということでやって来たのが、昨年できたばかりのこちら！

梅山

さあ、健都にやって来ましたが、ここがオススメの場所なんですか？

高畠

そうですね。後ろにある建物なんですけど、昨年11月にオープンしたばかりの健都ライブラリーというものになります。前回のカレンダーにも写真が載っていないスポットになりますので、ぜひここで沢山撮ってみてはいかがでしょうか？

ナレーション

これは入賞できる可能性大ですね。早速撮影開始。

梅山

早速、私はここで1枚目を撮りたいと思います。というのも、あの旗は何ですか？

高畠

あれは吹田市の市章ですね。市の旗になります。

梅山

ですよね。ということは吹田がわかるということですよね？

高畠

まさにそうですね。

梅山

なので、記念すべき1枚目。さあ、まず1回目ですからね。

高畠

空が綺麗で良いですね。

梅山

良いですか？

ナレーション

優しい高畠さんに褒められて気を良くした梅山さんが次に狙ったのが、この遊具。

梅山

ロープ越しの線路。どうでしょう？

高畠

.....。

梅山

私が選ぶ人だったら選ばないと思う。

ナレーション

梅山さんの微妙なセンスに不安を覚えつつも、健都ライブラリーの目玉「O系新幹線」を撮ることに。

梅山

まずは正面から撮ってみて、様子を伺いたいと思います。

高畠

はい。

梅山

これだと思いきりガラス越しに私が…。

高畠

写っちゃってますね…。

梅山

写ってるんですよ。

ナレーション

場所を変えて撮影するも、ガラス越しにしか撮ることができないので大苦戦。

梅山

なんか森の中を走ってきた新幹線みたい。

ナレーション

なかなかうまくいかないのに、最終手段！
今度は新幹線の中から図書館を絡めた写真を狙うことに。

高畠：

撮れましたか？

梅山

本って感じではないんですけど、図書館特有の棚に番号が書いている感じが窓から見えるという。これ結構私一人だけ盛り上がってるけど、すごい好きな写真です。

高畠

ここでしか撮れない写真ですからね。

梅山

そうですね。

ナレーション

その後も撮影を続けた梅山さんのお気に入りショットがこちら。健都らしく貨物電車を入れた風景。そして、ライブラリの丸い天窓を生かした公園の写真。いかがですか、田村さん？

梅山

じゃあ、これで応募できますね。

高畠

そうですね。ただ、これで終わりではないです。次に行くところがありますので。また去年の受賞者から指令をいただいていますので。

梅山

2つ目は“今しか撮れない場所を狙え！”

ナレーション

次に訪れたのは南千里駅周辺。

梅山

続いて南千里駅にやってきましたが、さっき“今しか撮れない”って。ここにそんなものありますか？

高畠

そうですね、後ろをよく見ていただきたいのですが、建物が2つあると思います。これはスターハウスという有名な団地になるんですけども、古いのと新しいのが2つ同時に見れるというのが今しか見れないスポットになります。

梅山

なるほど～。

ナレーション

建て替えが進む千里ニュータウンでは新旧の団地が並んでいる姿は今しか見られない光景なんですよ。

梅山

まずはノーマルの一枚を。

高畠

そうですね。これも空が青空で結構きれいに撮れてますね。

梅山

あとは、本当だったらスターハウスの独特の形を生かしたいんですが。

ナレーション

撮影が進むにつれ、意欲が上がってきた梅山さん。周囲を歩いてベストポイントを探しに行きます。と、そこで見つけたのがカラフルなタイルの壁。

梅山

かわいいですね。赤もあるし。

高畠

こういうのをぜひ使いたいですね。

梅山

おしゃれ。

ナレーション

しかし、いざタイルを目の前にするとどう撮っていいのか難しく、悩んだ結果…。

梅山

これ自分が入ったらダメなんですか？

高畠

別に入ってもいいです。

梅山

撮ってもらっていいですか？

高畠

カメラ目線じゃない感じで行きましょうか？ 楽しくなってきました。

梅山

私も楽しいです、なんか。

ナレーション

さて、本来の目的、スターハウスの撮影スポットを探しに再び出発です。

高畠

ここまできると。

梅山

だいぶん全体として写ります。

高畠

すごくいい写真だと思います。それぞれ3棟スターハウスがあるんですけど、それが全部きれいに写っていて、古い建物と新しい建物が奥に写っていると、すごくいい写真だと思います。

あっ、こんな時間ですね。次にいかないといけないので。

梅山

なんか予定あるんですか？

高畠

また指令があるので見てください。

梅山

“お昼間以外の時間を狙え！” 写真って明るい時間に撮るんじゃないんですかね？

ナレーション

さて、最後にやってきたのは神崎川周辺です。

梅山

次は何ですか？

高畠

今、夕方なんですけど、もう少し時間が経つと…。

梅山

日が沈みますよね。

高畠

そうですね。ここは夕日が撮れる絶景のポイントになりますので、是非ここで写真を撮ったらどうかなと思います。

梅山

夕日ですよ？どうやって撮ればいいんですか？

高畠

夕日が川に写って、その光がきれいだったりするので、そういうのを狙ってもいいかもしれないですね。

梅山

なるほど。

ナレーション

ここで夕日と川を渡る電車の写真を撮ると決めた梅山さん。

高畠

やばいやばい。時間が限られてますから。

梅山

時間と電車との戦い…

高畠

次、電車が来たら、これを逃すともうやばいかもしれない。

ナレーション

果たして梅山さんは「すいかレ」に投稿する夕日の写真が撮れるのか？！
ラストチャンスです！

高畠

来た、来た、来た 来ました。

梅山

あっ、いいんじゃない？撮れたんじゃないでしょうか？

高畠

良いと思います。

梅山

良いと思います、いただきました！やった～！

ナレーション

良い写真が撮れたらインスタグラムで#（ハッシュタグ）スイタブルシティと
すいかレ 2022 をつけて投稿したら応募完了です

梅山

できました、無事に！ちゃんと載りました。

さあ、これで「すいかレ」の応募が完了したということですね。

高畠

そうなんです。

梅山

こんなに簡単にできるんですね。

高畠

手軽にできますので、どなたでも参加してもらえたらなと思います。

梅山

ぜひ皆さんも身近なところ、綺麗な撮影やってみてください。
応募してみてください。

TIME	内容
	<p>廣川： 高畠さんがまた優しい方ですね。</p> <p>田村： 優しいから、なんとなく梅山さんのマイペースな感じが良い感じにフォローに回ってくれて。</p> <p>廣川 絶対に否定せずに誉めて伸ばすという感じでしたね。 自分が撮った写真がカレンダーになるなんて、これは良いですよ。</p> <p>田村： すごい試みで嬉しいですよ。写真ってこだわって撮りたいわりに出すところがないんですよ。</p> <p>廣川： 撮るはいいけど…っていうね。</p> <p>田村： そうそう。それがカレンダーになって、ものになってっていうのはめっちゃ嬉しいですね。</p> <p>廣川： ぜひ気軽に参加していただきたいと思います。 もう一度、応募方法についておさらいしておきましょう。 まずは、吹田市のInstagramをフォローしてください。 そして吹田市内で写真を撮影し、「#suitablecity」それから「#すいかレ 2022」を付けて投稿するだけです。 テーマは「伝えたい、吹田の一コマ」。 応募期間は8月31日（火）までとなっています。 日本国内に在住する方なら、市内・市外在住問わず誰でも応募可能となっております。詳しくは市のホームページをご覧ください。 是非みなさんもすいかレに応募してみてください。以上、特集でした。</p>

TIME	内容
<h1>ワンポイント手話</h1> <h2>「リモート飲み会をやります」</h2>	
<h3>吹田でSDGs！ #006 阪急電鉄</h3>	
	<p>田村： 続いては、吹田でSDGs！（エスディー・ジーズ）</p> <p>（拍手 フライングタイトル）</p> <p>廣川： このコーナーは、企業や団体などが行っているSDGsの取り組みを紹介していくコーナーです。</p> <p>田村： はい！よろしくお願いします。</p> <p>廣川： 今回は皆さんもよく知っているあの企業の取り組みです。 どんなSDGsの取り組みでしょうか。</p>

TIME	内容
	<p>麒麟君： こんにちは！麒麟君です。うわ～！電車がいっぱいだね。 阪急電鉄と言えば、このマルーン色のボディーがお馴染みだよね～。 でも最近、ちょっと変わったこの車両、見かけたことない？ 見て見て！ヘッドマークとボディー横に『SDGsトレイン』で書いてある。 どんな電車なんだろうね？ ということで、阪急電鉄の本社にやってきました。 ここは突撃！…ではなく、出発進行！ ガタンゴトン、ガタンゴトン、到着！ サステナビリティ推進部式部さん。よろしくお願いします。</p> <p>式部さん こんにちは、麒麟君。こちらこそよろしくお願いします。</p> <p>麒麟君： 式部さん。さっき駅でも見かけたんだけど、まずはSDGsトレインについて教えてください。</p> <p>式部さん： はい。あの電車は『SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号』といってSDGsをイメージする人や様々な生き物たちが、より良い未来へ向かってパレードしていく様子を描いたものなんだよ。 可愛いイラストを使うことで子ども達にもSDGsに親しんでほしいなという思いを込めています。</p> <p>麒麟君： 見てるだけで楽しくなってくるね。</p> <p>式部さん： さらに車内の広告スペース全てを使って、SDGsの1から17の目標の解説とか、SDGsに関連した取り組みを紹介しています。 つり革やステッカーもSDGsをイメージしたものに統一し、列車全体でSDGs達成に向けたメッセージを発信しています。</p> <p>ナレーション： そして、このSDGsトレイン。省エネ車両を使用するだけでなく、昨年9月からは、太陽光・水力・風力発電などに由来する電気を使用して、実質的に再生可能エネルギー100%で運行しているんです。 これは7番のSDGs目標『エネルギーをみんなに そしてクリーンに』に関わってくる取り組みです。</p>

TIME	内容
	<p>麒麟君： まさにSDGsトレインだね。 でも、どうしてそこまでSDGsに力を入れているの？</p> <p>式部さん それはSDGsが世界で始まる前に、阪急電車のグループ全体で「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」に取り組んでいたことが大きいかもしれないね。2009年からグループ横断で進めている社会貢献活動で、街の環境を良くする「地域環境づくり」と、街の将来を担う「次世代の育成」を重点領域として、様々な取り組みを進めています。この『ゆめ・まちプロジェクト』が2019年に10周年を迎えたのですが、10周年を機に持続可能な社会の実現に向けた更なる取り組みとして、「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」の運行を開始しました。</p> <p>ナレーション： そして『ゆめ・まちプロジェクト』を共に取り組んできたグループ企業である阪神電車もこの「SDGsトレイン」を運行しています。 さらに「SDGsトレイン」を関西と関東で連携して取り組むことが企画されました。</p> <p>式部さん 2020年9月からは、東急グループがこの取り組みに加わってくださいます。東急線でも運行を開始し、共同先を広げたかたちに発展させています。</p> <p>麒麟君： 取り組みの輪が広がっているね！</p> <p>式部さん さらに多様なメッセージを発信しようと、いろんなところに協力してもらっているんだよ。国や自治体、そのほかにもSDGsの取り組みに先進的な企業や市民団体などと連携するパートナーシップで「SDGsトレイン」を運行しています。</p> <p>麒麟君： なるほど。 これはSDGs目標17番の『パートナーシップで目標を達成しよう』にあてはまる取り組みだね。</p>

TIME	内容
	<p>ナレーション： そして、これらの取り組みが認められ、昨年12月なんと政府が主催する第4回「ジャパンSDGsアワード」で特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞しました。</p> <p>麒麟君： あっ、そろそろ発車時刻だ！ 最後にSDGsの向こうに描く未来について教えてください。</p> <p>式部さん 当社グループでは、今後の取り組みの方向性を示すものとして、昨年5月に「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」を公表しました。地球環境を始めとする様々な社会課題を主体的に関わり、また全ての人々が豊かさと幸せを実感でき、次世代が夢を持って成長できるような社会の実現を目指して、引き続き取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>麒麟君： そして、次の世代の子ども達へのこんな取り組みも教えてくれたよ。</p> <p>式部さん： 広く子ども達にSDGsについて学習していただくという機会の提供のためにSDGsトレインの車内ポスターを活用して「ゆめ・まちSDGsドリル」というものを制作しました。子ども達にはSDGsについて学び、自分事として捉えてもらい、達成に向けて取り組み、またそれを周りにもどんどん発信して行ってほしいなと思っています。 麒麟君も、ぜひ勉強してみてね。</p> <p>麒麟君： は～い！</p> <p>式部さん： ありがとう、またね！</p> <p>麒麟君： 出発進行～！阪急電鉄とグループの取り組みは、未来のために持続可能な社会をみんなに知ってもらおうという取り組みだったね。いろいろ教えて頂きありがとうございました。</p>

TIME	内容
	<p>廣川： SDGs トレイン。</p> <p>田村： 本当にすごいね。しかも10年前から違うかたちでやってて、 世界が向かってるところと合致していくってことが素晴らしい。</p> <p>廣川： 子どものために、この「SDGsドリル」が出来たとおっしゃっていましたが、 お借りしてきました。</p> <p>田村： 僕もあります。</p> <p>廣川： 田村さん、このコーナーでいろいろSDGsについて学んできてますから 解けると思うんですが、ちょっとやってみましょうか。</p> <p>田村： やってみましょうか。いいですよ。</p> <p>廣川： そうですね。問2とかどうですか？ 「世界で最も裕福な何人の資産の合計が経済的に恵まれない世界的人口 38億人とほぼ同じ」という問題なんですが。</p> <p>田村： これは簡単やわ。</p> <p>廣川： 下に選択肢がありますね。①380 ②124 ③26 ④5</p> <p>田村： これホンマに④じゃない？5人じゃないですか？</p> <p>廣川： たった5人の裕福な方の資産と、38億人の資産が同じ。</p> <p>田村： だってトップの人たち、すごいやん。</p>

廣川：

さあ、正解は…、ゆめ・まち SDGs ドリルを是非みなさんダウンロードして
答えをチェックしてみてください。

田村：

引っ張るねー。ドリルをダウンロードすれば、その答えも分かるの？

廣川：

阪急阪神ホールディングスのホームページから誰でもダウンロードすることが
出来ます。答えは何でしょうか？

田村：

答えはダウンロードしてチェックしてください。

廣川：

以上、吹田でSDGsのコーナーでした。

TIME	内容
<p>24:50 (02' 10")</p>	<p>吹田市からのお知らせ（コロナ関連情報）</p> <p>大阪府において、新型コロナウイルスの感染が急拡大し、医療提供体制が極めてひっ迫しているため、大阪府全域を対象に緊急事態宣言が発出されました。内容はご覧のとおりです。</p> <p>続いて、市の対応です。内容はご覧のとおりです。 詳しくは、ホームページをご確認ください。</p> <p>引き続き不要・不急の外出は控え、マスクの着用、こまめな手洗いなど、感染対策をお願いします。</p> <p>新型コロナウイルスワクチンに関するお知らせです。 市報すいた5月号に、新型コロナウイルスワクチン接種の折り込みを入れています。 接種の予約方法などについて掲載しています。</p> <p>かかりつけ医や地域の医療機関で接種を受ける個別接種を希望される方は、掲載している一覧から、各医療機関に直接お問い合わせください。</p> <p>また、市内公共施設で接種を受ける集団接種を希望される方は、5月6日（木）午前9時から予約の受付を開始します。 市コールセンターにお電話いただくか、Webサイトで予約が可能です。</p> <p>市コールセンターの電話番号は、フリーダイヤル 0120-210-750 受付時間は午前9時～午後8時、土曜・日曜・祝日も対応しています。 市コールセンターでは、接種予約のほかに、 新型コロナウイルスワクチン接種に関するご相談も受け付けています。</p> <p>「新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプラン」に以下の1件を追加決定し、市議会4月臨時会で可決されました。 市民生活への支援として低所得のひとり親世帯に生活支援特別給付金を支給します。 詳しくは市のホームページをご確認ください。</p>

TIME	内容
	<p>田村： 続いては、市内で行われた出来事などをご紹介する「吹田のトピックス」です。</p> <p>廣川： 今回は新しいスポットの話題です。</p>
	<p><u>ナレーション（廣川）</u> 4月14日、メイシアター2階のレストランがリニューアルオープンしました。</p> <p>オープンしたのは「カフェ・ダイニング・パローレ」。 店内はゆったりとした空間で、観葉植物やアンティークな椅子が使われるなど、リラックスした雰囲気です。食事を楽しむことができます。</p> <p>今回、元オーストラリアの公邸料理人の米澤さんがプロデュースしたお店というかたちになっておりまして、店内は洋食のカフェダイニングをイメージしているんですけども、今回料理は吹田市の「建都」にちなみまして、和食をメインでさせて頂いております。</p> <p>（インタビュー） 雰囲気も窓が大きくて明るいので、ゆっくりできて良かったです。</p> <p>食事もハンバーグいただいたんですけど、美味しくいただきました。 で、お店も綺麗だし、あと店員さんの「おもてなし」の心が見れたので、非常に印象が良かったと思います。</p> <p><u>ナレーション（廣川）</u> また、店内の一角には吹田の魅力を発信するアンテナショップのコーナーが設けられ、「すいたん」のPRグッズや吹田にゆかりのある企業やお店の有名な商品の販売もおこなわれています。</p> <p>まずは吹田市民の方々に来ていただきまして、気に入っていただきたいなと思っております。それでメイシアターのイベントを通じまして、吹田市以外の方々にも沢山来ていただけるような、選ばれるお店になっていけたらと思っております。</p>

TIME	内容
	<p>廣川： おしゃれなお店ですね。</p> <p>田村： 行ってみたいですね。</p> <p>廣川： 地元の人からはオープン前から期待の声が上がっていたそうなんですよ。</p> <p>田村： 元オーストラリアの公邸料理人さんと言われたら、すごい食べてみたいですね。</p> <p>廣川： 気になりますよね、味。</p> <p>田村： 行ってみたいです。</p> <p>廣川： 以上「吹田のトピックス」でした。</p> <p>田村： 今回の放送はここまでです。 それでは次回またお会いしましょう。 さようなら～</p>